

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	市民公益活動団体 石巻キャリア教育推進ネット	
代表者名	高橋 保幸	
連絡先 TEL : 090-7521-0324 FAX :	E-mail: ya_takahashijp@yahoo.co.jp	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	地域の仕事理解・職業理解への取り組み
事業の目的	各ライフステージにあった方法を用いて児童・学生の好奇心を刺激する地域の資源を活用したキャリア教育を行う。小学生には体験授業、中学生には、企業人との対話による職業学習となる。地域への愛着心、社会福祉の心、仕事や職業知識の醸成に大きな効果があると共に、将来的には地域力向上への成果に繋がるものである。今年度はロールモデルを作り、来年度は各ライフステージ間の接続を行い地域に根ざしたものとしたい。
事業の具体的内容	<p>具体的な取り組み内容としては以下になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象：時期、令和2年11月以降3回、石巻市立釜小学校3、5、6年生（約250人）、並びに石巻市立蛇田小学校5年生（約120人）に対し、図画工作等の授業時間に大人（1回当たり10人程度）との共同作業を行いながら、対話を通じて色々な仕事について学ぶキャリア教育を行う。 ・中学生対象：時期、令和3年1月下旬、石巻市立青葉中学校1年生（約80人）に対し、授業時間を使い色々な職業の大人と中学生が対話をするキャリア教育を行う。大人1人に対し中学生8～10人程度のグループを作り、車座になって仕事や進路についての対話を行う。
活動の開始から完了までの流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月 石巻市立釜小学校との調整に入る。授業の都合上早い時期に実施できないか相談を受ける。ボランティアメンバーとの調整後、11月6日に体験授業及びお仕事のお話

	<p>を実施する。小学3年生、5年生合計120名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月 石巻市立蛇田小学校から連絡が入り、例年実施している「しめ縄づくり」だが指導者が高齢のため実施できなくなり何か体験授業を行いたいとのことであった。数度の調整後お仕事の話や地域のコメ文化の話を交えた「しめ縄づくり」を行うことにした。当団体のメンバーも「しめ縄づくり」の経験がないため、農家の方から指導を受け練習を行った。 <p>12月下旬を予定していたが、蛇田小学校で新型コロナウイルス感染者が出たことにより延期となる。翌年の1月21日に小学5年生を対象に実施する。120名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年12月 石巻市立青葉中学校と職業人講話についての打ち合わせに入る。福祉、サービス、行政、ものづくり等色々な職業について話を聞く内容になる。 <p>令和3年1月27日に10人の職業人を招いた座談会を実施した。学生を8人ずつ10グループに分けて、車座による対話形での実施となる。中学1年生80名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月 石巻市立釜小学校との調整に入る。急遽3年生に再度実施してほしい旨相談を受ける。ボランティアメンバーとの調整後、2月10日に体験授業及びお仕事のお話を実施する。小学3年生、6年生合計130名が参加した。
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>小学生に対しての一番の成果は、子供たちが授業を嫌いにならないためにいかに手を加えられるかにある。我々の活動は、一見学校の授業のお手伝いにも見受けられるが、教師が悪戦苦闘し行き届かない授業では、出来る児童はいいが、その他の児童は授業に興味を持つまで至らないことが多い。特に図画工作の「つくる」授業ではそれは顕著に表れ興味を持つことが出来ない子供が多くいる。その部分への一部であるが我々が補填できたと考えている。</p> <p>また中学生は、何のために勉強をするのかが分からない子供が出てくる年代となる。その疑問に対し色々な仕事に就く大人たちが、学習がどういった所に役立っているのか。どのように頑張っているのかなどを、対話を通じて論ずることにより地元の企業を知り地元を知ることにつながっている。これも一部であるが達成できたと考えている。</p> <p>参加した子どもたちの感想の一部を以下に抜粋する。 〈小学生から〉</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・しめ縄の意味や歴史もたくさん知りました。お米を収穫して終わりではなく、最後までむだなく使っていて、すごいと思いました。しめ縄の作り方も分かりやすく教えていただいて、とてもきれいに作品を作ることができました。家に飾りたいと思います。 ・しめ縄の作り方やしめ縄の意味、そして、しめ縄に付けるかざりのような物の意味、かどまつに使われているしめ縄など知らなかったことが多かったです。それを丁寧にご教授いただき、とても理解しやすい説明でした。今回つくったしめ縄は大切にしようと思います。 ・担当の先生から「子どもは正直だと思った。書けと言わなくても一生懸命感想を書いていた。保護者からも一番反響の大きかった授業が「しめ縄づくり」だった。」 <p><中学生から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その職業によって様々な大切なことがある。 ・他人の良いところを見つける、小さなことに気をつける。 ・してもらってうれしかったことは、人にもできるようにする。 ・相手の立場になり、相手のこと自分のことを理解する事が大切だ。
<p>今後の展望など</p>	<p>今後も多くの子供たちに職業に関する体験や話を伝えていきたいと考えている。このようなキャリア教育は幼いころに体験することによって、介護職や製造業は3Kなどといった先入観等が排除され、将来の職業選択に役立つこととなる。</p> <p>これからある程度のロールモデルを形成した上で、行政等に呼びかけ継続的な実施ができるようにしていきたいと考えている。</p> <p>この助成をいただいた「みやぎ生協」様には心から感謝いたします。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	450,000	
自己資金	9,026	
合計	459,026	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
謝金	講師及びコーディネーター等への謝金 (内訳は別添のとおり)	375,000	375,000
需用費	運営に必要な文具など (内訳は別添のとおり)	55,000	63,720
印刷費	活動記録 (内訳は別添のとおり)	8,000	8,306
旅費	実施に係る旅費 (内訳は別添のとおり)	12,000	12,000
合計		450,000	459,026

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

石巻キャリア教育推進ネット



子どもたちが学習を通じて将来の自分を考え、地域資源の大切さを知る…
知ることからつながる学びで、地域に根差した担い手の育成につなげていきます

石巻市立釜小学校 3～6年生 《モノづくり》

令和元年度は6年生を対象として、『モノづくりについて』『お仕事について』知ってもらおう取り組みを行いました。今年度はコロナウィルス感染拡大の影響や学習時間が制限される中、『モノづくりの楽しさ』

『他者との関りの中で学ぶことの大切さ』を知ってもらうために対応する学年を3～6年生と広げ、釜小児童と共に学びの時間を深めていきました。たくさんの人と関わることは、今後生きていく上でとても大切なことです。楽しく学ぶことは、意欲や興味・関心へつながります。まずはイメージや想像を膨らませること。その先に形へ変える工程があります。図工の授業を通してモノづくりの楽しさを知り、子どもたちに経験という引き出しをたくさん増やしてほしいと願っています。



テープカッター作成《6年生》

ぎこぎこカッター作成《3年生》

わくわくプレイランド《5年生》



紙版画《3年生》



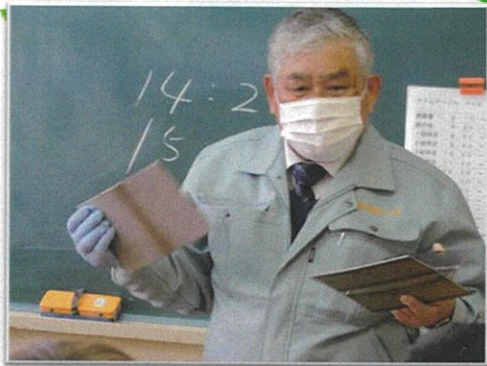
藤坂雄一先生より

「学ぶこと」をサポートしたいと願う大人が集う場所が「学校」で、教師の専門性とはいかにその道のプロフェッショナルとの出会いをコーディネートするのかわかることではないかと考えています。

図画工作科の学習支援は個別対応が必要でありながら、かなりの時間も掛かり教師一人では対応しきれません。子どもたちも教師もストレスフルな状態になる活動を、専門家をはじめ教師を目指す学生など多くの大人が子どもたちと丁寧に対話しながら、技術支援をさせていただきます。その対話こそ、子どもたちにとって「ものづくりの楽しさ」の土台とも言えるのではないかと思います。その時間を共有した全員が温かい気持ちになる。「つながりの中で生きている」ことをみんなが感じればこそ、学校はより豊かな学びを提供する場になるのだと感じるのです。

石巻市立青葉中学校 1年生 《職業人講話》

10名の社会人講師の皆さんが自らの経験から学んだこと、中学生に知ってほしいことを丁寧に教えてくださいました。職種は皆異なりますが、共通してお話されていたのは思いやりやコミュニケーションの大切さ、部活動を通して学んだことなど…。様々な職業を知ることで、今後の選択肢も授業に臨む姿勢も変わってきます。コロナウィルスの影響が心配される中でも実現できること、子どもたちと講師が限られた時間を丁寧に過ごしていただくために9つの教室をお借りして、1年生約70名を対象とした対話式の職業人講話を行いました。



(株)宮富士工業 後藤春雄様

学力(ガクリキ)は学ぶ力でみな平等にある。持っている力をどう使うかは人それぞれの責任で結果は自分次第。ガクリキは自分自身のもので、仕事も誰のために働くのか考えてほしい。

座右の銘は『教えるは学ぶの道半ば』人にもものを教えるときには、もう一度振り返り本物を覚えること。みなさんも自分を奮起させる言葉をもつこと。何でもいい。何だっていい。中学校までの基礎学力を身に付けていれば社会に出て何も困ることはない。私は今でも実践し続けている。



溶接の仕事を宮城県で一番(富士山)になれるようにと26歳で会社設立。紙が板金に、ノリが溶接に。子どもの頃に好きだった図工が今につながるモノづくりならでは出会う喜びについてお話させていただきました。



(株)ティ・ディ・シー 高橋貴様

どんな仕事も大切なのはコミュニケーション…相手を理解できるだけのコミュニケーションの必要性、心を考えることの大切さを丁寧に教えてくださいました。『はやぶさ』に搭載された部品のレプリカをお持ちいただいたことから、子どもたちが機械加工について自らの学習へつなげていきました。



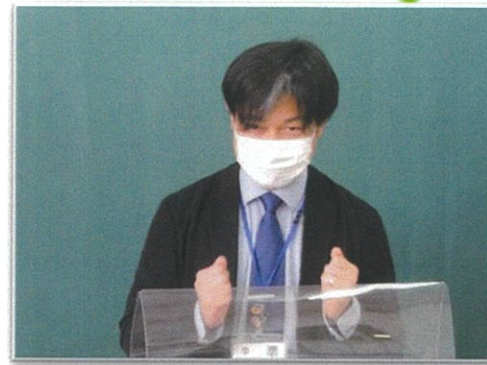
石巻消防署西分署 和田章一様



(株)ゼン・インターナショナル 木村美保子様

『笑門来福』笑顔でいることの意義、おもてなしの大切さを教えてくださいました。いつでも自分以外の誰かを気遣える心のゆとりを持つこと、自分を知り自分を認めることで見出す可能性など。たくさんの会話から人とつながり、情報源や大切な財産となることをアドバイスいただきました。

将来の夢を一人一人丁寧に問いかけ、子どもたちの心を開いてくださいました。同じ現場は一つもない…命を救うという結果に向かって重要なのはチームワーク。学生時代にがんばったバスケット部で培った瞬時の判断力が今につながっていること、消防士は市民を助けるために命を大切にしなければいけないこと、仕事は同じ方向性で歩むことの意義をお話いただきました。



石巻市産業部観光課 南俊輔様

釜小学校6年生の頃一生懸命学んだ、石巻市の観光について…。コロナウィルスの影響でその後の学びが止まっていたため、石巻市を大切に想う職員の方に出前授業をお願いしました。いつも笑顔で丁寧に人と関わることが大切だということ、仕事を通して感じた地域への愛着や適応力、コミュニケーションの必要性について伝えてくださいました。



三陸河北新報社 横井里花様

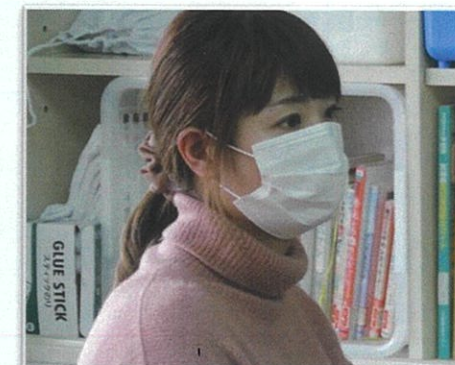
これまで生きてきて一つも無駄と感じなかったこと。どんな経験もつながって決して無駄にはならないこと。コミュニケーションの重要性、その職業によって大切なことが様々あることを繰り返し丁寧に伝えていました。

横井さんは読書感想文を書くことが好きで記者になった方です。自分の言葉で表現し伝えることはどんな職業でも必要なことだとお話いただきました。



カットハウス マツモト 松本利行様

理容師を目指したきっかけから、下積みの3年間や独立までの経緯について…。理容師はイメージ、想像力と判断力が必要とされます。クシやハサミの使い方、思い通りに仕上がった時の達成感などお話しいただきました。『理容師はモノづくりだから…』と松本さんは話されます。お客様には笑顔で日々心掛けてコミュニケーションについてもアドバイスいただきました。



いしのまき NPOセンター 渥美知枝様

高校卒業後専門学校に通い取得した介護福祉士の資格や介護の仕事、NPOの仕事など、これまで経験してきたことすべてが今の自分につながっている。部活動で一生懸命がんばった剣道のことも含め、仕事ではなく子どもたちに向き合って言葉を伝える機会を持ったことで、これまでの自分を丸ごと肯定することができた。子どもたちの素直な反応は今後の自分の励みにつながると笑顔でお話いただきました。

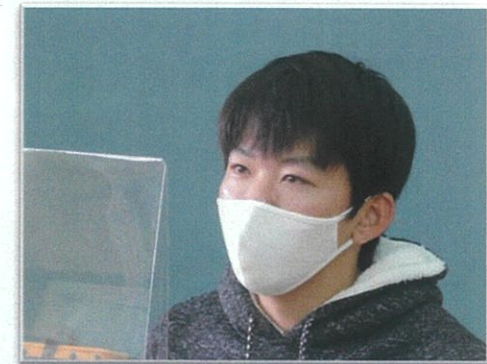


石巻高等技術専門学校 櫻井和伸様

自動車整備士の仕事について。ご自身が幼稚園から社会人まで好きだったサッカーを一生懸命にやりきったことで乗り越えられたと感じる経験やご縁、人とのつながりをたくさんの角度からお話しいただきました。

自分の好きなことと、能力があれば自分にぴったりの職業が見つかる。

諦めたらそれで終わる…。まずは好きなことを探して、好きなことを見つけてみよう!!とアドバイスを。



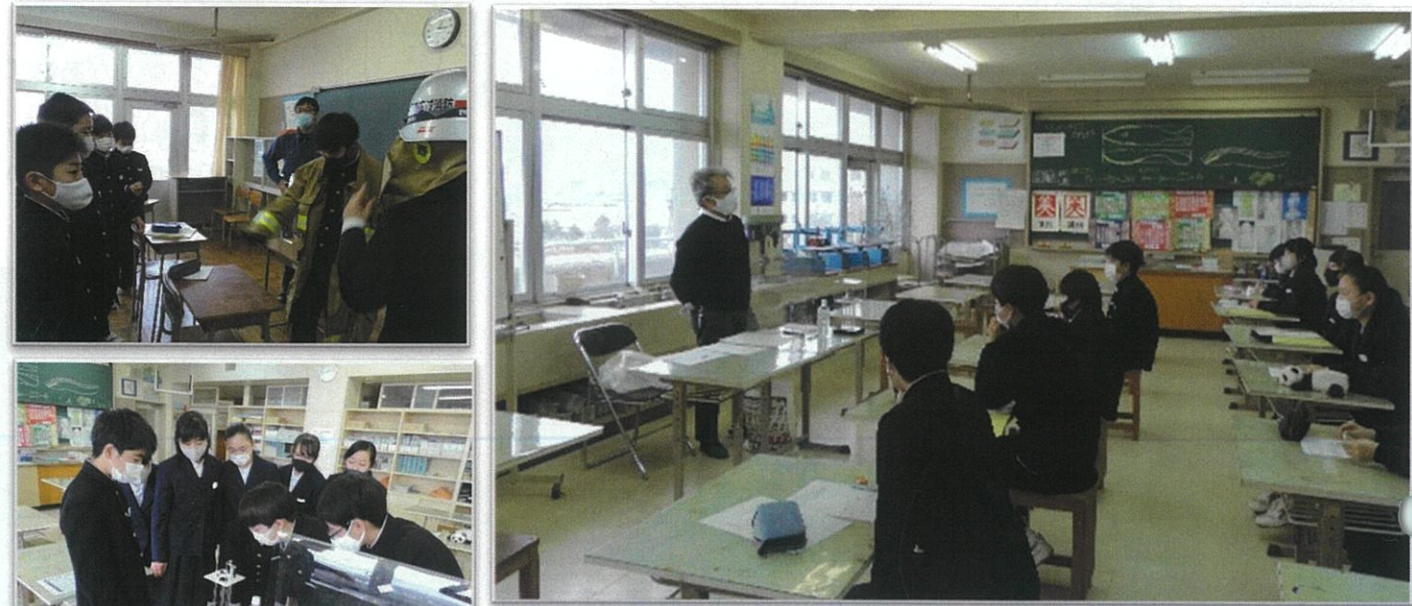
石巻専修大学 千葉良大様

4月から小学校教員。優秀でなくてもやりたいという強い気持ちがあれば、教員を目指せるということ。算数が好きで図工は苦手。学生時代に仙台や岩手県までジョギングをしたことが人と話す時にとっても役に立ったので、可能であれば他の人ができないような大きな経験をして欲しい。経験は自分を助けてくれることを自身の体験からお話いただきました。

石巻市立蛇田小学校 5年生 《しめ縄授業》



学生から回収したアンケートには帰宅後に興味を持って調べたこと、講師から聞いたお話を自分の言葉で表現していました。



学生の頃に経験出来たら良かった…多くの大人から声が届く授業となりました。



子どもたちにお仕事について理解してもらえよう、リアルに仕事環境を再現する講師の方々…



しめ縄作りは私たちも初体験。できないからやらないのではなくて、できる人から学べばいい。ベテランの先生が住む栗原市築館に出向き、縄の編み方を教わってきました。

5年生は稲を育てたり、日本の文化に触れる授業をたくさん受けています。受け継がれた伝統や昔ながらの文化がなぜ大切なのかをお話をして、コロナウイルス感染防止対策のため、約130名の児童を2クラス毎に4人一組でグループを作りました。自分たちで役割分担を決めて、協力しながら全員しめ縄を完成しました。



授業終了後私たちが指導しなくてもみな熱心にぎゅっと感想を書いていたので、子どもは正直だと思いました。コロナウィルスの影響で外部講師の依頼が難しい中、1か月遅れで行えた体験学習。帰宅後の子どもたちの感想を耳にした保護者から「またぜひやって欲しい!!」との声がたくさん届きました。可能であれば毎年お願いしたいと思っています。遠藤知子先生より